

## 第24回農林害虫防除研究会沖縄大会プログラム

日時：令和元年7月4日（木）13:00～5日（金）15:40

会場：那覇市ぶんかテンプス館「テンプスホール」

主催：農林害虫防除研究会

共催：（一社）日本植物防疫協会、 沖縄県植物防疫協会

7月4日（1日目） 受付開始12:30

【開会】 13:00 開会挨拶 農林害虫防除研究会会長 野村 昌史  
沖縄大会実行委員長 金城 邦夫

【シンポジウム】 テーマ「侵入・移入害虫の現状と課題」

講演30分、質疑5分（1鈴25分、2鈴30分、3鈴35分）

座長 趣旨説明  
13:10～13:20 水谷 信夫  
農研機構 九州沖縄農業研究センター

講演1 沖縄県におけるナスミバエの発生状況と防除対策  
13:20～13:55 ○谷口 昌弘<sup>1</sup>、河野 伸二<sup>2</sup>、佐渡山 安常<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>沖縄県病害虫防除技術センター、<sup>2</sup>沖縄県農業研究センター

講演2 日本在来の難防除ミバエ害虫・ミカンバエ(*Bactrocera tsuneonis*)の生態と防除について  
13:55～14:30 東浦 祥光  
山口県農林総合技術センター農業技術部資源循環研究室  
発生予察グループ（病害虫防除所）

（休憩10分）

講演3 海を渡る害虫～トビイロウンカの薬剤抵抗性とイネ品種加害性の現状～  
14:40～15:15 藤井 智久  
農研機構 九州沖縄農業研究センター

講演4 シロイチモジヨトウ再多発の要因を考える  
15:15～15:50 八瀬 順也  
兵庫県立農林水産技術総合センター 農業技術センター病害虫部

講演5 チョウ目新害虫と侵入警戒種ツマジロクサヨトウ  
15:50～16:25 吉松 慎一<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>農研機構 農業環境変動研究センター、<sup>2</sup>東京農業大学大学院農学研究科

（休憩10分）

総合討論 16:35 ~ 17:00

【総会】 17:10 ~ 17:40 (仮)

【情報交換会】 18:30 ~ 21:00 ホテルロイヤルオリオン

7月5日(2日目) 開場 9:00 講演開始 9:15

【開場】 9:00

【運営案内】 9:10 大会副実行委員長 松山 隆志

【一般講演】 講演 12分、質疑 3分 (1 鈴 10分、2 鈴 12分、3 鈴 15分)

講演者は次の講演の座長を担当 (1 番と 13 番の講演座長は事務局が担当)

- 1 農林害虫防除研究会における殺虫剤抵抗性対策の新たな取組み  
殺虫剤抵抗性対策タスクフォース  
9:15~9:30 ○山本 敦司<sup>1</sup>・土井 誠<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>日本曹達(株)小田原研究所, <sup>2</sup>静岡県農林技術研究所
- 2 殺虫剤のローテーションの正しい理解 ~世代の考え方~  
9:30~9:45 ○島克弥<sup>1,2</sup>・山本敦司<sup>1,3</sup>・中倉紀彦<sup>1,4</sup>・木村雅行<sup>1,5</sup>・船田剛玄<sup>1,6</sup>・  
常松孝祐<sup>1,7</sup>・川島光博<sup>1,8</sup>・加藤良晃<sup>1,9</sup>・伊地知美奈子<sup>1,10</sup>・  
大上恵<sup>1,11</sup>・平瀬寒月<sup>1,12</sup>・大岡将太<sup>1,13</sup>  
<sup>1</sup>J IRAC(殺虫剤抵抗性対策委員会日本支部), <sup>2</sup>エフエムシー, <sup>3</sup>日曹,  
<sup>4</sup>バイエル, <sup>5</sup>日農, <sup>6</sup>シンジェンタ, <sup>7</sup>石原バイオ, <sup>8</sup>アグロ カネショウ,  
<sup>9</sup>BASF, <sup>10</sup>住化, <sup>11</sup>ダウ, <sup>12</sup>三井, <sup>13</sup>丸和 (社名は略称)
- 3 殺虫剤抵抗性リスクコミュニケーション (Part 3)  
9:45~10:00 ○中倉紀彦<sup>1,2</sup>・山本敦司<sup>1,3</sup>・島克弥<sup>1,4</sup>・木村雅行<sup>1,5</sup>・船田剛玄<sup>1,6</sup>・常松孝祐<sup>1,7</sup>・  
川島光博<sup>1,8</sup>  
<sup>1</sup>J IRAC(殺虫剤抵抗性対策委員会日本支部), <sup>2</sup>バイエル, <sup>3</sup>日曹,  
<sup>4</sup>エフエムシー, <sup>5</sup>日農, <sup>6</sup>シンジェンタ, <sup>7</sup>石原バイオ, <sup>8</sup>アグロカネショウ  
(社名は略称)
- 4 薬剤抵抗性ガイドライン案の概要と普及戦略  
10:00~10:15 ○豊島真吾<sup>1</sup>・安田哲也<sup>2</sup>・山中武彦<sup>3</sup>・上杉龍士<sup>4</sup>・松村正哉<sup>5</sup>・真田幸代<sup>5</sup>・  
藤井智久<sup>5</sup>・秋月 岳<sup>5</sup>・土田 聡<sup>6</sup>・須藤正彬<sup>6</sup>・太田 泉<sup>1</sup>・飯田博之<sup>1</sup>・  
上樂明也<sup>2</sup>・浅野美和<sup>2</sup>・山村光司<sup>7</sup>  
<sup>1</sup>農研機構野菜花き研究部門, <sup>2</sup>農研機構生物機能利用研究部門,  
<sup>3</sup>農業情報研究センター, <sup>4</sup>農研機構東北農業研究センター,  
<sup>5</sup>農研機構九州沖縄農業研究センター, <sup>6</sup>農研機構果樹茶業研究部門,  
<sup>7</sup>農研機構農業環境変動研究センター
- 5 ナカジロシタバ幼虫に対する各種薬剤の効果  
10:15~10:30 ○上室 剛  
鹿児島県農業開発総合センター大隅支場

- 6 ジアミド系殺虫剤 5 種のチャノコカクモンハマキに対する残効期間  
10:30~10:45 ○内山 徹<sup>1</sup>・海野康平<sup>2</sup>・吉田達也<sup>1</sup>・小澤朗人<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>静岡県農林技術研究所茶業研究センター・<sup>2</sup>静岡県立農林大学校・  
<sup>3</sup>現在 静岡県立農林大学校
- 7 京都府におけるシロイチモジヨトウの殺虫剤感受性  
10:45~11:00 ○徳丸 晋  
京都府農林水産技術センター
- 8 ベイト剤によるホウレンソウケナガコナダニの防除効果  
11:00~11:15 ○本田善之<sup>1</sup>・岩本哲弥<sup>1</sup>・中田恵久<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>山口農林総合技術センター・<sup>2</sup>サンケイ化学 (株)
- 9 薬剤感受性が低下したチュウゴクナシキジラミの対策について  
11:15~11:30 ○岩本哲弥  
山口県農林総合技術センター
- 10 山梨県富士北麓地域のコナガの各種薬剤に対する感受性について  
11:30~11:45 ○鷹野公嗣<sup>1</sup>・近藤真理<sup>1</sup>・渡辺真理子<sup>1</sup>・石田久美子<sup>2</sup>・村上芳照<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>山梨県病害虫防除所、<sup>2</sup>山梨県総合農業技術センター
- 11 チャの被覆栽培におけるカンザワハダニ多発要因の検討  
11:45~12:00 ○吉田達也・内山 徹  
静岡県農林技術研究所茶業研究センター
- 12 静岡県におけるミカンサビダニの多発要因とその対策  
12:00~12:15 ○土田 裕大  
静岡県農林技術研究所果樹研究センター
- 【昼食・休憩】 12:15 ~ 13:00**
- 13 ミナミキイロアザミウマの誘引に効果的な粘着トラップの色  
13:00~13:15 ○土井 誠・片山晴喜・斉藤千温  
静岡県農林技術研究所
- 14 「あきらめが悪い」タイリクヒメハナカメムシの生物防除における有効性の評価  
13:15~13:30 ○世古智一<sup>1</sup>・三浦一芸<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>農研機構中央農業研究センター・<sup>2</sup>農研機構西日本農業研究センター
- 15 奈良県における次世代型バンカー資材キットによる施設イチゴ栽培のアブラムシ類防除  
13:30~13:45 ○山口 貴大<sup>1</sup>・井村岳男<sup>1</sup>・小原慎司<sup>2</sup>・伊藤健司<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>奈良県農業研究開発センター・<sup>2</sup>株式会社アグリ総研

- 16 脂肪酸グリセリド乳剤と調合油乳剤のナミハダニに対する忌避効果  
13:45～14:00 ○井口 雅裕  
和歌山県農業試験場
- 17 ネギ圃場を中心としたネギネクロバナネキノコバエの分散について  
14:00～14:15 ○石原 由紀・田上陽介  
静岡大学農学部応用昆虫
- 18 小笠原（父島、母島）島外(沖縄本島)からの購入苗から検出された生物類  
14:15～14:30 ○大林 隆司  
東京都小笠原亜熱帯農業センター（現：東京都農林総合研究センター）
- 19 カンキツグリーニング病（HLB）根絶事業におけるミカンキジラミ *Diaphorina citri*  
防除戦術と今後の計画  
14:30～14:45 ○細川 理恵・眞境名 元次・金城 邦夫  
沖縄県病害虫防除技術センター
- 20 COI 遺伝子の分子系統樹に基づくハダニ類の種の識別法の確立  
14:45～15:00 ○松田朋子<sup>1</sup>・後藤哲雄<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>株式会社日本バイオデータ、<sup>2</sup>流通経済大学
- 21 ゲノム解析を活用した重要害虫の殺虫剤抵抗性遺伝子診断法の開発  
15:00～15:15 ○秋月岳<sup>1</sup>・浅野美和<sup>2</sup>・土田聡<sup>3</sup>・桑崎 誠剛<sup>2</sup>・上樂明也<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>農研機構九州沖縄農業研究センター・<sup>2</sup>農研機構生物機能利用研究部門・  
<sup>3</sup>農研機構果樹茶業研究部門)
- 22 新規害虫抵抗性誘導物質、ロリオライドの単離と害虫防除効果  
15:15～15:30 ○村田未果<sup>1, 2, 3</sup>・河津圭<sup>3</sup>・望月淳<sup>3</sup>・光原一朗<sup>2</sup>・瀬尾茂美<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>農研機構 野菜花き研究部門・<sup>2</sup>農研機構 生物機能利用研究部門・  
<sup>3</sup>農研機構 農業環境変動研究センター

【閉会】 15:35 閉会挨拶 農林害虫防除研究会副会長